

地域資源を活かした景観・まちづくりの計画・マネジメントに関する研究

自然・環境科学研究所 大平 和弘



キーワード

地域資源、文化遺産、景観、風景認識、祭祀空間

研究概要

人口減少や地域コミュニティの衰退、ライフスタイルの変化などに伴い、長い年月をかけて培われてきた地域固有の歴史・文化が、急速に失われつつあります。一方、未曾有の自然災害の増加等、地域の自然・風土に即した持続可能なまちづくりや地域づくりが求められています。本研究室では、「人と自然がうまく調和した地域固有の風景」を保全・創成するための、景観やまちづくりの計画やマネジメントに関する実践的研究に取り組んでいます。地域の風景を特徴づける自然や歴史、生活文化などの「地域資源」の価値を再考し、それらを活用した暮らし方や仕組みづくりを、行政や地域住民の方々と一緒に考えています。



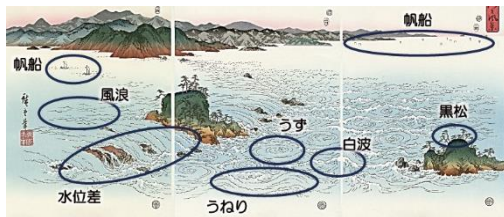
伝統的な街並みや祭りなどの地域資源の調査

アピールポイント

地域固有の風景を見つめ直す手法として、兼務先の「人と自然の博物館」の研究環境を活かし、地域の古写真や古典籍などの史料を用いた調査分析も取り入れ、その成果を博物館の展示や教育普及活動にもつなげています。

応用分野

上記の研究成果や行政や地域住民の方々との実践を通して、〇〇遺産認定など、地域資源を地域再生につなげるための仕組みやネットワークづくりも行っています。



古典籍(浮世絵)から風景要素を読み解く分析